

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/06/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

3か月ぶり高値更新、根強い需給ひっ迫評価

NY原油先物相場は、1バレル=120ドル台まで値上がりする展開になった。需給ひっ迫評価から上値追いの展開が続き、6月8日には3月9日以来の高値更新となる123.18ドルまで値上がりした。ただ、週後半は中国の需要不安を蒸し返す動きがみられ、調整売りで上げ幅を削る展開になった。

中国の需要環境の改善傾向、ドライブシーズンの需要拡大、欧州連合 (EU) のロシア産禁輸措置、石油輸出国機構 (OPEC) プラスが十分な増産対応を行っていないとの評価などが、原油需給のひっ迫評価を強めている。120ドルの節目を完全に上抜く展開になっている。しかし、中国の上海市が11~12日に新型コロナウイルスの検査を実施する方針を示すと、検査結果次第では改めて大規模な行動規制が導入される可能性が警戒され、調整売りが上値を圧迫した。非鉄金属相場のように大きく値を崩すには至らなかったが、週末に向けて短期筋が利食い売りを進める動きが強まり、高値からは下押しされる展開になった。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (6月3日時点) は、原油が前週比203万バレル増、ガソリンが81万バレル減、石油精製品が259万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫で押し目買い優勢か、中国リスクの再浮上には要注意

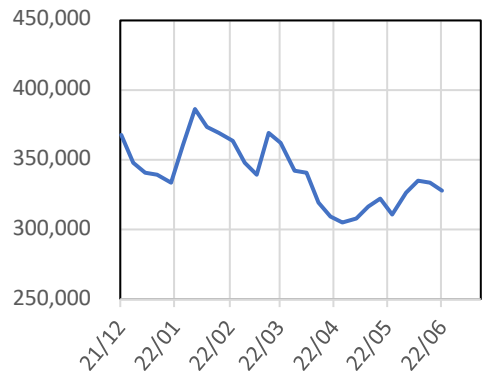
需給ひっ迫評価が維持されると、120ドル台定着から一段高が打診されよう。120ドルの上は3月7日に付けた高値130.50ドルまで目立った抵抗線が見当たらず、値が飛ぶ可能性も想定しておく必要がある。

週前半は、中国の新型コロナウイルスのリスク評価が重視され易い。改めてロックダウン（都市封鎖）などの行動規制が広範囲かつ長期にわたって導入されるとの見方が強まると、110ドル台中盤程度までは下押しされるリスクがある。一方、経済活動が正常化に向かうプロセスにおける一時的混乱との見方になると、早めに押し目買いが入ることで、上昇地合が維持されよう。

米ガソリン小売価格は過去最高値を更新しており、6月ミシガン大消費者マインド指数は前月の58.4から50.2まで急低下し、過去最低を更新している。ただ、現時点ではガソリン消費は前年同期を若干下回る程度に留まっており、需給ひっ迫懸念を緩和・解消するような大幅な悪化は確認できない。EIA発表の米ガソリン在庫は10週連続で減少しているが、更に減少傾向が維持されると、ガソリン相場主導の上昇リスクが高まる。一方、米ガソリン小売価格が1ガロン=5ドルに迫る異常事態になり、4月米消費者物価指数が40年5カ月ぶりの大幅な上昇率を記録する中、バイデン政権の動きは活発化している。石油輸出国機構（OPEC）プラスに対する増産プレッシャーも強くなっており、米国内外で何等かの政策対応が講じられる可能性が高まっていることには注意が必要。

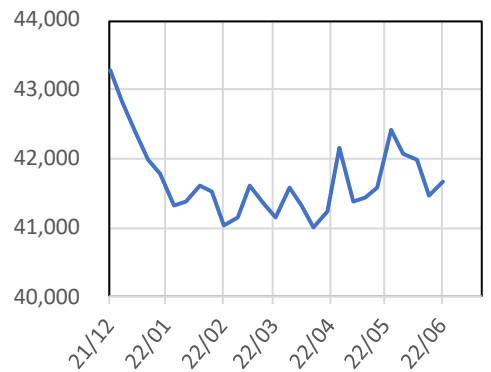
14日にはOPEC月報、15日には国際エネルギー機関（IEA）月報の発表が予定されていることがイベントリスクになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



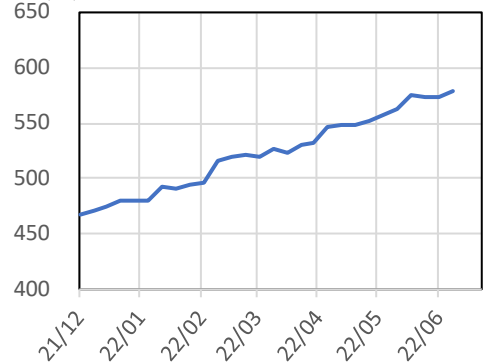
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

